

総監修 野田秀樹の“旅する文化サーカス”が2年ぶりに帰ってくる！

東京キャラバン

「東京キャラバン in 駒沢 2021」パフォーマンス 観覧募集 6/15 (火) 開始

木村カエラさん・青柳美扇さん・Daisy Balloon・ライリー大仁さんの参加決定！

「東京キャラバン」では、2021年8月21日(土)、22日(日)に駒沢オリンピック公園総合運動場・体育館にて開催する「東京キャラバン in 駒沢 2021」パフォーマンスの観覧募集を6月15日(火)より開始します。

今回新たに、木村カエラさん(アーティスト)と青柳美扇さん(書道家)、Daisy Balloon(バルーンアーティスト)、ライリー大仁さん(江差追分)の参加が決定！

松たか子さん(女優)、東京スカパラダイスオーケストラ(ミュージシャン)、津村禮次郎さん(能楽師)、沢則行さん(人形劇師)、宇治野宗輝さん(現代美術家)など、これまで「東京キャラバン」に登場した第一線で活躍するアーティストやパワーあふれる日本各地の多彩な表現者たちの参加が続々決定しています。総監修・野田秀樹のもと、駒沢オリンピック公園に集結します。そして、2015年の東京・駒沢を幕開けに、東京、リオデジャネイロ、東北、京都、熊本、豊田、高知、秋田、いわき、埼玉、富山、岡山、北海道を旅して、生み出してきた新しい表現が、唯一無二のパフォーマンスとなって花開きます。「東京キャラバン」ならではの豪華メンバーによる、ここでしか見ることのできない貴重なパフォーマンスを、是非とも“生”で体験してください！

「東京キャラバン」は、野田秀樹(劇作家・演出家・役者) 総監修のもと、言語や国境、表現ジャンルを超えた多種多様なアーティストたちの“文化混流”を実現させることで、新しい表現やパフォーマンスを創出し続ける文化ムーブメントです。また、オリンピック・パラリンピックが開催される東京を文化の面から盛り上げるため、多彩なプログラムを展開し、芸術文化都市東京の魅力を伝える取組「Tokyo Tokyo FESTIVAL」の主要プログラムとして、さらに2021年は、東京2020 NIPPON フェスティバル共催プログラムとして実施します。



①東京キャラバン～プロlogue～(2015年) 撮影:井上嘉和、②東京キャラバン in RIO(2016年)、③東京キャラバン in 東北(2016年)、④東京キャラバン in 六本木(2016年) 撮影:徳山紀信
⑤東京キャラバン in 京都(2017年) 撮影:井上嘉和、⑥東京キャラバン in 秋田(2019年) 撮影:コンドウタイスケ、⑦⑧東京キャラバン in 北海道(2020年) 撮影:徳山紀信

観覧募集要項

「東京キャラバン in 駒沢 2021」パフォーマンス観覧募集

- 応募方法: 「公式ウェブサイト」または「往復はがき」にてご応募ください。
- 応募期間: 公式ウェブサイト 2021年6月15日(火)11:00～7月12日(月)23:59
往復はがき 2021年6月15日(火)～7月12日(月)必着
- 観覧: 無料、応募者多数の場合は抽選となります。
※当日席は若干数をご用意します。詳細は後日公式ウェブサイトで公開します。

① 公式ウェブサイトからの応募

- 申し込み先: 公式ウェブサイトよりお申し込みください。
URL: https://tokyocaravan.jp/komazawa2021_internet
- 結果の通知: お申し込みいただいた方には、メールで抽選結果をお知らせいたします(7月下旬予定)。
当選された方は、デジタルチケット(QRコード画面)を表示、もしくはデジタルチケット(QRコード画面)を出力し、当日ご提示ください。
※通信料はご応募者負担となります。
※株式会社エブリィ・エンタテインメントが運営するイベント抽選応募サイト「Frentry」のシステムを利用しています。登録にはメールアドレスが必要となります。登録の前に「@ticket-every.jp」からのメールが受信できるように設定を必ず行ってください。
※システムメンテナンスのため、毎月第3水曜日AM7:00～10:00の3時間は「Frentry」サイトをご利用いただくことができません。ご了承ください。

② 往復はがきでの応募

- 往信あて先: 〒137-8691 日本郵便株式会社 新東京郵便局 私書箱第91号 東京キャラバン運営事務局行
- 往信文面: 応募者の①氏名 ②フリガナ ③電話番号 ④性別 ⑤生年月日 ⑥郵便番号 ⑦住所
⑧同行者の氏名(フリガナ、1名まで)⑨同行者の年齢 ⑩同行者の電話番号
⑪観覧第1希望(公演日・時間/席種)、第2希望(公演日・時間/席種)
(8月21日、22日・13:00～または18:00～/前方床席・いす席)
⑫枚数(1枚もしくは2枚)
- 返信あて先・文面: 東京キャラバン運営事務局で印字しますので、何も記入しないでください。
- 結果の通知: お申し込みいただいた方には返信はがきで結果をお知らせします(7月下旬予定)。
当選された方は、当選はがきを当日ご持参ください。
※往復はがきの費用は、ご応募者負担となります。
※はがきへは、消えないペンでご記入ください。

●注意事項:

- ・ご応募はお一人様につき1回のみ可能です(第2希望まで)。ご同行者を含め、複数の申し込みが確認された場合やご記入漏れがあった場合はご応募が無効となります。公式ウェブサイトと往復はがきの重複のご応募も無効となります。
- ・座席は公演当日の入場時に座席券でご案内します。座席のご指定や変更はできません。
- ・参加資格の譲渡・転売はできません。入場の際、本人確認をする場合がありますので、顔写真付き身分証明書を必ずご持参ください。ご同行者がいる場合は、ご同行者も身分証明書のご持参をお願いいたします。
- ・車いすでご来場の方は、当選後、東京キャラバン運営事務局までご連絡ください。
- ・ご提供いただいた個人情報は適切に管理し、本事業に関する業務以外の目的では使用いたしません。
- ・ご提供いただいた個人情報は、万が一新型コロナウイルス感染者が発生した場合に、接触者特定等の目的のため、保健所等の公的機関へ情報を提供する場合があります。また、ご提供いただいた連絡先にご連絡する場合があります。

●応募に関するお問い合わせ(東京キャラバン運営事務局):

03-6426-0463 (2021/6/15～8/23 平日10:00～17:00※土日祝除く)

開催概要

「東京キャラバン in 駒沢 2021」パフォーマンス

- 開催日時：2021年8月21日(土) 13:00～ / 18:00～
8月22日(日) 13:00～ / 18:00～
- 会場：駒沢オリンピック公園総合運動場・体育館(東京都世田谷区駒沢公園1-1)
- 会場アクセス：
 - ・東急田園都市線「駒沢大学」駅下車、公園口より徒歩約20分
 - ・JR山手線、京王井の頭線、東急東横線・田園都市線、東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線 「渋谷」駅西口から「田園調布駅行き(渋11)」バスに乗り「駒沢公園東口」または「東京医療センター前」下車、徒歩約10分
 - ・JR山手線、東京メトロ日比谷線「恵比寿」駅から「用賀駅行き(恵32)」バスに乗り「駒沢公園」下車、徒歩約3分。または、「学芸附属中学校」下車、徒歩約1分
 - ・東急東横線・大井町線「自由が丘」駅から「東京医療センター行き(自12)」バスに乗り「駒沢公園」下車、徒歩約3分
- 観覧：無料、事前申込制・応募者多数の場合は抽選 ※詳しくは2ページ目の応募方法をご覧ください。
- 東京キャラバン総監修：野田秀樹(劇作家・演出家・役者)
- 主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
- 共催：東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
- 事業協力：秋田県、秋田市、京都文化カプロジェクト実行委員会、北海道
- 参加アーティスト：
 - 松たか子(女優)、東京スカパラダイスオーケストラ(ミュージシャン)、木村カエラ(アーティスト)、津村禮次郎(能楽師)、沢則行(人形劇師)、青柳美扇(書道家)、宇治野宗輝(現代美術家)、Daisy Balloon(バルーンアーティスト)、和太鼓 Atoa、“東京キャラバン”アンサンブル、琉球舞踊(立方：嘉数道彦、大浜暢明、玉城匠、上原崇弘 地謡：玉城和樹、和田信一)、秋田市竿燈会(秋田竿燈まつり)、村田製作所チアリーディング部(球乗り型ロボット)、公益社団法人北海道アイヌ協会(アイヌ古式舞踊)、ライリー大仁(江差追分)、小山豊・小山会青年部(津軽三味線小山流)、真船勝博・徳澤青弦(東京キャラバンストリングス) ほか

※第3弾参加アーティストの情報は、7月上旬に発表予定です。
※参加アーティストの出演日等の詳細は後日発表します。
- 参加クリエイター：
 - 服部基(照明)、名和晃平(美術)、原摩利彦(音楽)、ひびのこづえ(衣装)、赤松絵利(ヘアメイク)、篠山紀信(写真)、奥秀太郎(映像)、青木兼治(映像撮影) ほか
- 公式WEBサイト：<https://tokyocaravan.jp/>
- 公式SNS：Instagram <https://www.instagram.com/tokyocaravan/>
Facebook <https://www.facebook.com/tokyocaravan.official>

※新型コロナウイルス感染症の状況により、実施内容等に変更が生じる場合があります。
※出演者やプログラム内容は予告なく変更になる場合があります。

インターネットライブ中継

「東京キャラバン in 駒沢 2021」パフォーマンスをより多くの方にご覧いただけるよう、2021年8月22日(日)に公式ウェブサイトにてインターネットライブ中継いたします。詳しくは、公式ウェブサイトをご覧ください。

<https://tokyocaravan.jp>

東京キャラバンは、「東京都感染拡大防止ガイドライン」に沿った新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて実施します。お申し込みの際は、必ず、東京キャラバン公式ウェブサイト内の「新型コロナウイルス感染症対策とご来場の皆様へのお願い」をご確認いただき、マスクをご着用の上、ご来場ください。マスクを着用でない方や、37.5度以上の発熱や体調不良が認められる方等は、当日ご入場をお断りする場合がございますので、予めご了承ください。

【追加決定】参加アーティスト プロフィール

木村カエラ（アーティスト）

2004年6月にシングル「Level 42」でメジャーデビュー。2013年、自身が代表を務めるプライベートレーベルELAを設立。2014年、メジャーデビュー10周年を迎え、10月に横浜アリーナ2days公演を実施。2018年4月、自身初となる描き下ろし絵本「ねむとココロ」を出版。2019年6月、メジャーデビュー15周年を迎え、日比谷野外大音楽堂にてアニバーサリー公演を実施。2020年6月には初のエッセイ「NIKKI」を出版。同年9月に初のオンラインライブを実施し、2021年3月に映像商品「NEVERLAND」をリリース。1984年10月24日生まれ、東京都出身。

2019・2020年の「東京キャラバン in 北海道」に参加。



青柳美扇（書道家）

大阪府出身。世界中で書道パフォーマンスを披露している。国立競技場の貴賓室作品をはじめ、「JFA天皇杯」のオープニングアクトを努めた。

代表作 「モンスターハンターライズ」

手塚治虫原作テレビアニメ「どろろ」

「FIBA男子オリンピック」公式試合球デザイン 等

2017年の「東京キャラバン in 京都」、2018・2019年の「東京キャラバン in 秋田」に参加。



Daisy Balloon（バルーンアーティスト）

バルーンアーティスト細貝里枝と、アートディレクター・グラフィックデザイナーの河田孝志からなるアーティストユニット。

2008年結成以来、「感覚と質」をテーマに掲げ、バルーンで構成された数々の作品を制作。なかでもバルーンドレスは、繊細さが細部まで行き渡った建築物を思わせ、多くの人々を魅了している。また、彼らは日々、哲学的テーマを探求して、物や人とディスカッションすることをフィールドワークとしているが、その眼差しは常に、他者との本質的な融合に向けられている。

2015年の「東京キャラバン〜プロローグ〜」、 「東京キャラバン in 六本木」に参加。



ライリー大仁（江差追分）

平成16（2004）年青森県三沢市生まれ。祖母の勧めで5歳から民謡を始める。持ち前の澄んだ高音が魅力で、公益財団法人日本民謡協会平成28年度民謡民舞少年少女全国大会小学4・5・6年の部で優勝し、民謡小学生日本一の称号を与えられる。翌29年には日本民謡フェスティバルに民謡小学生日本一としてゲスト出演し、会場となったNHKホールを沸かせた。主な入賞歴に、平成24・25年、民謡民舞少年少女北東北大会1・2・3年の部2年連続優勝。平成25年、秋田民謡全国大会低学年の部優勝。平成27年、民謡民舞少年少女北東北大会4・5・6年の部優勝。平成28年、秋田民謡全国大会高学年の部優勝、民謡民舞少年少女全国大会4・5・6年の部優勝、秋田おはら節全国大会少年少女の部優勝。令和元年、第23回江差追分少年全国大会優勝。その他全国大会において多数の入賞を果たす。

2019・2020年の「東京キャラバン in 北海道」に参加。



撮影：篠山紀信

総監修者 プロフィール

野田秀樹

劇作家・演出家・役者。東京芸術劇場芸術監督、多摩美術大学教授、東京キャラバン総監修。東京大学在学中に「劇団 夢の遊眠社」を結成し、数々の名作を生み出す。92年、劇団解散後、ロンドンに留学。帰国後の93年に演劇企画製作会社「NODA・MAP」を設立。『キル』『赤鬼』『パンドラの鐘』『THE BEE』『ザ・キャラクター』『エッグ』『逆鱗』『足跡姫～時代錯誤冬幽霊～』『鷹作 桜の森の満開の下』『Q』: A Night At The Kabuki』など、数々の話題作を発表。オペラの演出、歌舞伎の脚本・演出を手がけるなど、演劇界の旗手として枠を超えた精力的な創作活動を行う。2015年よりブラジル、東北、東京、京都など国内外の多種多様なアーティストとの文化混流による文化サーカス「東京キャラバン」を展開。さらには、海外の演劇人と積極的に外国語作品を創作し続けるなど、世界を駆け巡り、意欲的に活動している。2021年5月よりNODA・MAP新作『フェイスピア』を上演中。

09年10月、名誉大英勲章OBE受勲。09年度朝日賞受賞。11年6月、紫綬褒章受章。



松たか子（女優）

1993年歌舞伎座『人情噺文七元結』で初舞台を踏んで以降、舞台・ドラマ・映画・歌手活動とさまざまなフィールドで活躍を続けている。舞台では第38回紀伊國屋演劇賞・個人賞、第15回読売演劇大賞・最優秀女優賞などを受賞。近年の出演作に、舞台『メトロポリス』、『イヌビト〜犬人〜』（20年8月公演）。野田秀樹の作品『オイル』、『贖作・罪と罰』、『逆鱗』、『Q : A Night At The Kabuki』など出演多数。

ドラマ『カルテット』『スイッチ』『大豆田とわ子と三人の元夫』、映画『ヴィヨンの妻〜桜桃とタンポポ〜』、『告白』、『夢売るふたり』、『小さいうち』、『アナと雪の女王』シリーズ（日本語吹替版）、『ラストレター』、『峠 最後のサムライ』（22年公開予定）など多数。

2015年の「東京キャラバン〜プロローグ〜」、2016年の「東京キャラバン in 東北（相馬）」、そして2017年の「東京キャラバン in 京都」に参加。



東京スカパラダイスオーケストラ（ミュージシャン）

ジャマイカ生まれのスカという音楽をベースに、あらゆるジャンルの音楽を独自の解釈で飲み込み、自ら奏でるサウンドは“トーキョースカ”と称してオリジナルのスタイルを築き上げた日本が世界に誇る9人組スカバンド。

デビュー30周年イヤーを駆け抜け、新たなフェーズへと進んだ今も尚、バンドのテーマである“NO BORDER”を掲げ、音楽シーンの最前線を走り続けながらトーキョースカの楽園を広げ続けている。

<https://www.tokyoska.net/>

2016年の「東京キャラバン in RIO」、「東京キャラバン in 東北（仙台）」、そして「東京キャラバン in 六本木」に参加。



津村禮次郎（能楽師）

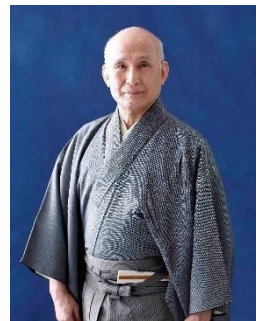
重要無形文化財（能楽総合）保持者。

1942年北九州市生まれ。一橋大学在学中に女流能楽師の草分け津村紀三子に師事、その後先代観世喜之に師事する。緑泉会定例公演、小金井新能公演のほか、仙台、福島、佐渡での活動も40年以上継続する。

古典に留まらず創作活動、海外公演、演劇やダンスとのコラボレーションも多い。

2010年度文化庁文化交流使としてロシアなどで活動。2015年ドキュメンタリー映画「躍る旅人 能楽師・津村禮次郎の肖像」が公開された。著作に「能がわかる100のキーワード」「能狂言図典」、写真集「舞幻」。

2015年の「東京キャラバン〜プロローグ〜」、2016年の「東京キャラバン in RIO」、「東京キャラバン in 東北（仙台・相馬）」、「東京キャラバン in 六本木」、そして2017年の「東京キャラバン in 京都」に参加。



沢則行（人形劇師）

北海道小樽市出身。1991年にフランス、1992年に文化庁在外研修派遣でチェコへ。以後、プラハを拠点に世界20ヶ国以上で公演、また、チェコ国立芸術アカデミー演劇・人形劇学部を始め、多くの教育現場で講座、ワークショップを行う。ヨーロッパ文化賞「フランツ・カフカ・メダル」授与、EU文化都市賞など、国際的受賞多数。日本国内では、NHK「みんなのうた」映像制作、「SWITCHインタビュー 達人達」出演、東京2020大会の公式文化プログラム「東京2020NIPPONフェスティバル〜巨大人形プロジェクト『モッコ』」の人形デザイン設計および人形製作操演総指揮を担う。

極小から巨大まで、あらゆる人形（＝フィギュア）を創造し操演するところから、フィギュアアートシアターの第一人者とされる。

2019・2020年の「東京キャラバン in 北海道」に参加。



撮影：Youhei KUBOTA

宇治野宗輝（現代美術家）

1964年東京都生まれ。90年代よりサウンドスカルプチャーを制作、展示／パフォーマンスを行っている。

2004年からは、大量消費社会が急速に拡大した20世紀以降の「物質世界のリサーチ」を基盤に、楽器、家電製品や自動車、家具、中古レコードなど、世界中どこにでもある日常的なモノと技術を再構成し、近代の文化を再定義するサウンド／スカルプチャー／パフォーマンスの複合プロジェクト「The Rotators」に取り組み、日本のみならず世界各地の展覧会に参加している。

2015年の「東京キャラバン〜プロローグ〜」、2018・2019年の「東京キャラバン in 秋田」に参加。



和太鼓 Atoa.

2011年3.11東日本大震災を受け、世界中で活動をしている「鼓童」を離れ、地元仙台へ戻り「Atoa.」を結成。

2011年には、重要無形文化財保持者の能楽師 津村禮次郎との共演を果たし、2016年には、演出家 野田秀樹の下、六本木ヒルズアリーナにて公演。また宮沢りえ・東京スカパラダイスオーケストラとのコラボレーションを果たす。2017年には、京都二条城前公演で松たか子・EGO-WRAPPIN'中納良恵らと共演。小金井新能公演にては、コンテンポラリーダンサーの森山開次とも共演。2018年、シンガーソングライター上北健【KK（ケケ）】と篠笛演奏家の阿部一成と舞台「命の装い」を合作。2020年元旦サッカー天皇杯（JFA 99TH JAPAN FOOTBALL CHAMPIONSHIP）国立競技場大会でのオープニングセレモニーをメインゲストとして演奏。他ジャンルで活躍しているアーティストとのコラボレーションを果たし、精力的に活動の幅を広げている。結成10年目を迎え、更なる活躍を期待されている。

2017年の「東京キャラバン in 京都」、「東京キャラバン in 熊本」に参加。



“東京キャラバン”アンサンブル

2015年「東京キャラバン〜プロローグ〜」を機に、野田秀樹の創作活動を支えるパフォーマーたちによって結成された演劇アンサンブル。野田秀樹が「東京キャラバン」に書き下ろした「物語」を演劇的に表現し、2015年の駒沢『旅立つ前夜〜1940年の子供たち〜』、2016年のリオデジャネイロ、仙台、相馬、六本木での『地球の反対側から来たお話』、2017年の京都『夏の魂の中で』、2019年の秋田『禁断の恋』、2020年の北海道『予告編という名の運命』などのパフォーマンスに参加し、観客を「東京キャラバン」の世界へと誘う。

2015-2020年メンバー：秋草瑠衣子、秋山遊楽、石川詩織、大石貴也、織田圭祐、上村聡、川原田樹、菊沢将憲、黒瀧保士、近藤彩香、佐々木富貴子、指出瑞貴、下司尚実、白倉裕二、末富真由、手代木花野、長尾純子、永田恵実、夏子、野上絹代、野口卓磨、福島彩子、松本誠、的場祐太、光瀬指絵、柳生拓哉、吉田朋弘



撮影：井上嘉和

琉球舞踊（立方：嘉数道彦、大浜暢明、玉城匠、上原崇弘 地謡：玉城和樹、和田信一）

沖縄独自の歌舞劇「組踊」と同様、琉球古典音楽と琉球舞踊は琉球王朝時代に宮廷芸能として発展してきた伝統芸能。伝統を受け継ぎつつ、新たな挑戦をし続ける、国内外で活躍する若手、中堅メンバーが参加する。

2015年の「東京キャラバン〜プロローグ〜」、2017年の「東京キャラバン in 八王子」、そして2019・2020年の「東京キャラバン in 北海道」に参加。



撮影：篠山紀信

参加アーティスト プロフィール

秋田市竿燈会（秋田竿燈まつり）

「秋田竿燈まつり」は、稲穂に見立てた竿燈が夏の夜空に揺らめき、五穀豊穡を祈願する東北三大まつりのひとつ。毎年8月3日から6日までの4日間、秋田市で開催される。起源は江戸時代中期とされ、270年もの歴史を持つ国重要無形民俗文化財。流麗なおはやしと「どっこいしょ」の掛け声に合わせて、長さ約12m、重さ50kgにもなる竿燈を、差し手があげる熟練の妙技が見どころ。

2018・2019年の「東京キャラバン in 秋田」に参加。



村田製作所チアリーディング部（球乗り型ロボット）

世界中のみなさまに元気と笑顔を届けるために、2014年に開発された球乗り型ロボット。メンバー全員が絶妙なバランス感覚とチームワークで一糸懸命パフォーマンスして、世界中のイノベーターや頑張る人を応援します。息の合ったかわいい動きを楽しんでください。

2017年の「東京キャラバン in 京都」に参加。



公益社団法人北海道アイヌ協会（アイヌ古式舞踊）

東京2020オリンピック・パラリンピックからアイヌ文化を世界へ多様な民族が集う平和の祭典において日本の先住民族アイヌの存在を世界に知ってもらおうとしないチャンス。

全てものを敬う心から築かれたアイヌ文化には世界平和に通じるものがある。

そんなアイヌ民族の心を、世界に誇れる日本の心の一つとして世界に発信していく取組を進めている。

2019・2020年の「東京キャラバン in 北海道」に参加。



撮影：篠山紀信

小山豊・小山会青年部（津軽三味線小山流）

津軽三味線全国普及のパイオニア、初代・小山貢（貢翁）が津軽三味線が津軽地方の伝承芸能に過ぎなかった1957年、単身上京し津軽民謡の普及を始め、東京発全国へと発展させた。合奏での演奏スタイル、楽曲の譜面化のバイオニアとしても知られている。小山流三代目である小山豊は多くの海外公演や【嵐】【ずっと真夜中でいいのに。】など多岐に渡るコラボレーションを精力的に行なっている。“民謡をもっと身近なものに”をテーマに小山流若手有志で青年部を結成、多角的に活動の幅を広げている。

2015年の「東京キャラバン〜プロローグ〜」、2017年の「東京キャラバン in 京都」に参加。



真船勝博（東京キャラバンストリングス）

1977年2月1日大阪生まれ。高校1年の春エレキベースを始める。

大学入学後JAZZ研に入部しウッドベースも始める。

2000年より「EGO-WRAPPIN'」のサポートを始め、様々なアーティストのライブやレコーディングに参加しつつ「EGO-WRAPPIN' AND THE GOSSIP OF JAXX」や、yui 率いる「FLOWER FLOWER」などのバンドで活動中。

2021年リリースのYUI「NATURAL」全曲プロデュース。



徳澤青弦（東京キャラバンストリングス）

1976年生まれ、東京出身。チェリスト・作曲・編曲家。東京藝大でクラシックを学び、新たな発見を求めて他分野で活動始める。2003年～2008年anonymassで4枚のアルバムをリリース。2007年～これまでに小林賢太郎関連サントラ集を6枚リリース。2009年よりさだまさしコンサートツアーバンドに加わる。2014年トウヤマタケオとのデュオThrowing a Spoonで「awakening」、「Bored to death」（2019年）リリース。2020年林正樹（Pf.）とのデュオで「Drift」リリース。映画『天気の子』『君の名は。』いずれもオーケストレーションに携わる。2015年フジテレビ（FNN）「こんやのニュース」、「あしたのニュース」、NHK総合「ドキュメント72時間」等に楽曲提供。NHK Eテレ「ムジカ・ピッコリーノ」ゴーシュ役で出演。



「東京キャラバン」とは

「東京キャラバン」は、東京都及び公益財団法人東京都歴史文化財団がオリンピック・パラリンピックが開催される東京を文化の面から盛り上げるため、芸術文化都市東京の魅力を伝える取組「Tokyo Tokyo FESTIVAL」の主要プログラムとして実施しています。劇作家・演出家・役者である野田秀樹の発案により、多種多様なアーティストが出会い、国境／言語／文化／表現ジャンルを超えて、“文化混流”することで、新しい表現が生まれるというコンセプトを掲げ、それぞれのジャンルを超えたパフォーマンスを各地で展開しています。

「東京2020オリンピック・パラリンピック」の文化プログラムを先導するリーディングプロジェクトとして実施した2015年の東京・駒沢に始まり、2016年にリオデジャネイロ、東北（仙台・相馬）、六本木にて開催。2017年度からは「東京2020公認文化オリンピアド」として本格始動し、日本全国の自治体（道府県、政令指定都市、中核市）の中から立候補を募り、共感いただいた44の地域から開催候補地を選出し、2017年は京都（二条城・亀岡）、八王子、熊本にて、松たか子（女優）、中納良恵／EGO-WRAPPIN'（ミュージシャン）、津村禮次郎（能楽師）が参加。さらに、2018年は豊田、高知、秋田にて黒木華（女優）、熊谷和徳（タップダンサー）、チャラン・ポ・ランタン（アーティスト）。そして、2019年はいわき、埼玉、富山、岡山、北海道にて木村カエラ（アーティスト）をはじめ、芸術文化界で活躍する様々な著名人や新たな可能性を持った若き表現者たちが参加し、それぞれの圧倒的なパフォーマンスで63,500人以上の観覧者を魅了しました。

そして、2021年は全国各地のキャラバンを経て、旅の始まりの地である駒沢オリンピック公園に再び集結。「東京キャラバン」に出会い、そのムーブメントで芽吹いた新しい表現の種が、この地で、一つとなり、今までにない大きなパフォーマンスとなって花開きます。

※2021年は、東京2020 NIPPONフェスティバル共催プログラムとして実施します。

2021年までの開催地域・日程

2015年 ～プロローグ～“旅立つ前夜”

① 駒沢 10/8(木)-10(土)

2016年 ～地球の反対側へ～

② リオデジャネイロ 8/18(木)-21(日)

③ 東北・仙台 9/3(土)-4(日)

④ 東北・相馬 9/17(土)-18(日)

⑤ 六本木 10/21(金)-22(土)

2017年 ～日本全国へ～

⑥ 京都・亀岡 8/19(土)-20(日)

京都・二条城 9/2(土)-3(日)

⑦ 八王子 9/9(土)-10(日)

⑧ 熊本 10/9(月・祝)-13(金)、15(日)

2018年 ～さらに日本全国へ～

⑨ 豊田 7/22(日)

⑩ 高知 9/16(日)

⑪ 秋田 12/8(土)-9(日)、
2/16(土)-17(日)

2019年 ～2020年とその先に向けて～

⑫ いわき 5/19(日)

⑬ 埼玉 10/13(日)※中止

⑭ 富山 11/3(日・祝)・4(月・休)

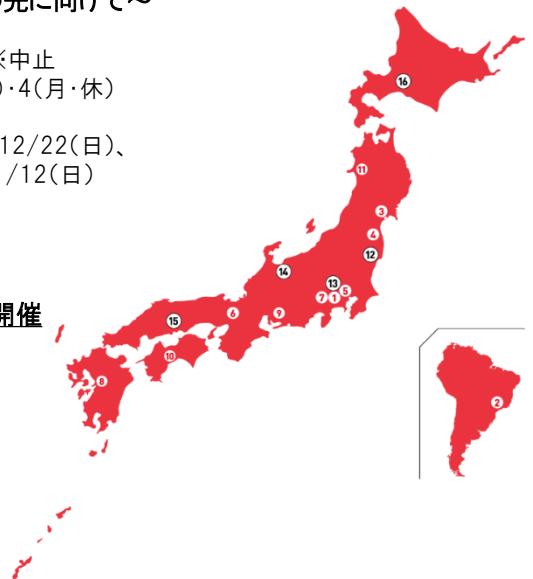
⑮ 岡山 12/8(日)

⑯ 北海道 12/21(土)-12/22(日)、
1/11(土)-1/12(日)

2020年 開催中止

2021年

駒沢オリンピック公園にて開催



「必要なのは、今、2020年にむけての『物語』、そして、その『物語』が2020年を超えても続いていけるような、そんな『物語』を作ることはできないのか？1964年の東京オリンピックには、これで戦後が終わっていくのだ、日本がいよいよ世界に向かって復帰できるのだ、といった確固たる物語があったように思う。

今回の東京オリンピックには、今、日本人を動かすべき、そうした大義名分のような『物語』を簡単に見つけることは難しいだろう。ただ、ある程度の大きさの『物語』を積み重ねることで、人々の「気運」を作ることはできる。そして、盛り上がった「気運」の中から、壮大な物語は生まれないと。 (中略) そして、この東京キャラバンが日本にばらまいた、目の前にある文化＝ライブの面白さ。それを経験した小さな子供たちの心の中に種が撒かれる。

インターネットの普及で偏りがちになった文化とは、全く違う姿、目の前で息をしている人間が生み出す文化への興味を示してくれるようになり、その中から、新たな形態の文化を生み出すとき、この「東京キャラバン」という物語は、本当に壮大な物語になるだろう。」

野田秀樹（「東京キャラバン」構想より）

東京都

ARTS
COUNCIL
TOKYO



本リリースに関するメディアお問い合わせ先
東京キャラバン広報事務局 担当：古川・野々口・山根
Email: press@tokyocaravan.jp